



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス  
 コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 亨  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長 (氏名) 小林 俊昭

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	9,766	3.7	738	10.9	993	56.9	499	16.2
30年3月期第1四半期	9,415	1.0	665	17.0	632	19.0	429	30.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 202百万円 ( 81.6%) 30年3月期第1四半期 1,101百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	40.57	
30年3月期第1四半期	35.17	35.00

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	37,147	20,783	55.9
30年3月期	37,756	21,438	56.6

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 20,783百万円 30年3月期 21,379百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		40.00		70.00	110.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		40.00		65.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期年間配当金は110円(普通配当100円、創業50周年記念配当10円(期末配当に含む))となります。

平成31年3月期年間配当金は105円(普通配当105円)となります。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	5.0	1,850	4.6	1,850	6.5	1,200	4.0	97.49
通期	40,000	1.5	4,400	5.4	4,400	7.6	2,800	35.9	227.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	15,240,000 株	30年3月期	15,240,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	2,903,155 株	30年3月期	2,935,755 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	12,308,753 株	30年3月期1Q	12,215,544 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）におけるわが国経済は、設備投資が緩やかに増加し、企業収益も改善しており、緩やかな回復基調が続きました。

情報サービス業界におきましても、IT投資は緩やかに増加しましたが、競争激化による厳しい受注環境は依然として続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、企業価値ならびに株主価値の向上をめざし、収益構造の改革を推進して高収益モデルを確立するとともに株主還元のためさらなる充実を図るため、中期経営計画を策定し、以下の重点施策に取り組んでおります。

#### ①既存事業の収益性向上

- ・売上総利益率のさらなる向上

プロジェクト管理の充実・強化による採算性向上、生産間接費の継続的削減、自社IP製品ビジネスへの取り組み、生産要員規模の適正化を推進しております。

- ・販管費率の改善

アカウントマネージャー制の導入により営業効率の向上を図るとともに、本社スタッフ部門とシェアードサービスを担当する株式会社SRAプロフェッショナルサービスの運営コストの削減に努めております。

- ・受注・売上拡大

既存顧客の深耕による顧客内シェア向上ならびに成長分野における新規顧客の獲得に注力し、受注・売上拡大に努めております。

#### ②ビジネスモデルの変革

- ・「自社IP製品ビジネス+既存事業の高付加価値化」の推進を図るとともに、IoT、モバイル、セキュリティ、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、ソーシャル技術等の成長分野において、自社IP製品および新サービスの提供を推進しております。

#### ③「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」の強化

- ・成長分野に向けた自社IP製品の拡充をめざすとともに、成長市場である海外をターゲットとしたビジネスを推進しております。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては次のとおりとなりました。

売上高は、開発事業、販売事業が増加し、9,766百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

損益面におきましては、利益率向上施策等による売上総利益の増加により営業利益は738百万円（前年同期比10.9%増）となり、経常利益は993百万円（前年同期比56.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は499百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

##### ●開発事業

開発事業は、一部の製造業向けが増加した結果、当事業の売上高は4,919百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

##### ●運用・構築事業

運用・構築事業は、企業向けおよび大学向けがほぼ横ばいで、当事業の売上高は1,130百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

##### ●販売事業

販売事業は、株式会社AITの機器販売が増加した結果、当事業の売上高は3,716百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における資産合計は37,147百万円(前連結会計年度末比1.6%減)、負債合計は16,363百万円(同0.3%増)、純資産合計は20,783百万円(同3.1%減)となりました。前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

短期貸付金が2,149百万円増加し2,566百万円となりました。一方、その他が1,079百万円減少し843百万円、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が885百万円減少し6,047百万円となりました。

(負債合計)

仕入債務の増加により買掛金が976百万円増加し3,847百万円、前受金が674百万円増加し3,583百万円となりました。一方、法人税等の支払により未払法人税等が521百万円減少し213百万円、工事損失引当金が407百万円減少し373百万円となりました。

(純資産合計)

利益剰余金が361百万円減少し17,002百万円、為替換算調整勘定が239百万円減少し206百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月10日に開示しております「平成30年3月期決算短信」の連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,629	7,110
受取手形及び売掛金	6,932	6,047
有価証券	108	101
商品及び製品	647	806
仕掛品	1,566	1,530
短期貸付金	416	2,566
未収入金	2,874	3,114
その他	1,922	843
貸倒引当金	△37	△7
流動資産合計	22,061	22,113
固定資産		
有形固定資産		
建物	376	376
減価償却累計額	△268	△272
建物（純額）	107	104
機械装置及び運搬具	530	539
減価償却累計額	△491	△497
機械装置及び運搬具（純額）	39	41
その他	136	138
減価償却累計額	△91	△93
その他（純額）	45	45
有形固定資産合計	192	191
無形固定資産		
その他	1,310	1,276
無形固定資産合計	1,310	1,276
投資その他の資産		
投資有価証券	9,353	9,207
長期貸付金	3,179	2,912
繰延税金資産	2,211	2,049
差入保証金	384	384
退職給付に係る資産	46	46
その他	555	564
貸倒引当金	△1,519	△1,580
投資損失引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	14,191	13,565
固定資産合計	15,695	15,033
資産合計	37,756	37,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,871	3,847
短期借入金	1,179	1,179
未払費用	859	795
未払法人税等	735	213
未払消費税等	506	278
前受金	2,908	3,583
賞与引当金	565	958
役員賞与引当金	49	43
工事損失引当金	780	373
訴訟損失引当金	1,198	—
その他	294	724
流動負債合計	11,949	11,998
固定負債		
繰延税金負債	68	66
退職給付に係る負債	4,134	4,137
役員退職慰労引当金	165	161
固定負債合計	4,368	4,365
負債合計	16,317	16,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,671	4,699
利益剰余金	17,364	17,002
自己株式	△2,437	△2,402
株主資本合計	20,598	20,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	654	597
為替換算調整勘定	445	206
退職給付に係る調整累計額	△319	△320
その他の包括利益累計額合計	780	484
新株予約権	59	—
純資産合計	21,438	20,783
負債純資産合計	37,756	37,147

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,415	9,766
売上原価	7,583	7,763
売上総利益	1,832	2,002
販売費及び一般管理費	1,166	1,263
営業利益	665	738
営業外収益		
受取利息	16	24
受取配当金	25	30
為替差益	10	189
その他	16	23
営業外収益合計	70	267
営業外費用		
支払利息	9	10
証券代行事務手数料	3	2
貸倒引当金繰入額	33	0
持分法による投資損失	56	—
その他	0	0
営業外費用合計	103	13
経常利益	632	993
特別利益		
投資有価証券売却益	117	—
新株予約権戻入益	1	54
その他	—	0
特別利益合計	119	54
特別損失		
固定資産除却損	0	—
訴訟関連損失	—	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	751	1,041
法人税、住民税及び事業税	416	359
法人税等調整額	△93	182
法人税等合計	322	542
四半期純利益	429	499
親会社株主に帰属する四半期純利益	429	499

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	429	499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	750	△57
為替換算調整勘定	△80	△238
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△0
その他の包括利益合計	671	△296
四半期包括利益	1,101	202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,101	202
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	4,786	1,142	3,486	9,415	—	9,415
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	53	96	152	△152	—
計	4,789	1,196	3,583	9,568	△152	9,415
セグメント利益	637	297	188	1,123	△457	665

(注) 1. セグメント利益の調整額△457百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	4,919	1,130	3,716	9,766	—	9,766
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	51	67	121	△121	—
計	4,922	1,181	3,783	9,887	△121	9,766
セグメント利益	751	276	115	1,143	△404	738

(注) 1. セグメント利益の調整額△404百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業 (百万円)	5,343	101.0
運用・構築事業 (百万円)	1,163	98.7
合計 (百万円)	6,507	100.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ②仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	前年同四半期比 (%)
販売事業 (百万円)	2,455	97.1
合計 (百万円)	2,455	97.1

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ③受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	5,606	101.7	5,505	103.3
運用・構築事業	718	95.5	1,777	109.6
販売事業	3,675	88.7	3,549	92.1
合計	10,000	96.1	10,832	100.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。  
4. 受注残高に係る前年同四半期比率は、前年数値より訴訟の終了による影響を除いた数値との比較です。

## ④販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業 (百万円)	4,919	102.8
運用・構築事業 (百万円)	1,130	98.9
販売事業 (百万円)	3,716	106.6
合計 (百万円)	9,766	103.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上